

平成30年度 予算の概要

財政課
☎202106

まちが動き始めた、良い流れを力強く加速させ、
過去から積み残された課題を解決していく予算

今年4月、県内では35年ぶりにJR新駅『あしかがフラワーパーク駅』が両毛線に開業します。中心部では足利工業大学が足利大学に名前を変え、新たに本城キャンパスを開校します。また、あがた駅南産業団地は着々と造成・分譲が進み、さらに6月には大前町に人工芝の多

目的運動場がオープンします。まちが着実に動き始めた、この良い流れを力強く加速させ、本市の魅力をさらに高め、次のステージへ引き上げるための施策に、重点的に財源を配分しました。特に『子どもたちがより豊かに育つための子育て支援策や

学校教育環境などの充実』、そして『栃木デスティネーションキャンペーンを契機とした観光誘客や均衡ある産業振興』、加えて『安全・安心なまちづくりと快適に暮らせる住環境整備』などを推進するとともに、大型公共施設の老朽化対策に具体的に着手します。さらには総合計画の戦略プログラムに位置付けている『映像のまち構想』や『スマートウェルネスシティ』などの各施策を積極的に推進していく予算としました。

足利を次のステージへ

▼4月1日(日)開業のJR両毛線
あしかがフラワーパーク駅



▲4月3日(火)開校の
足利大学本城キャンパス

子育て支援
学校教育環境の充実

安全・安心
住環境整備

観光誘客
産業振興

公共施設の老朽化対策

課題を積み残さない

平成30年度 一般会計予算額は **527億円**

前年度対比 +1億円、+0.2%

特別会計を含めた全会計は **935億2,180万円**

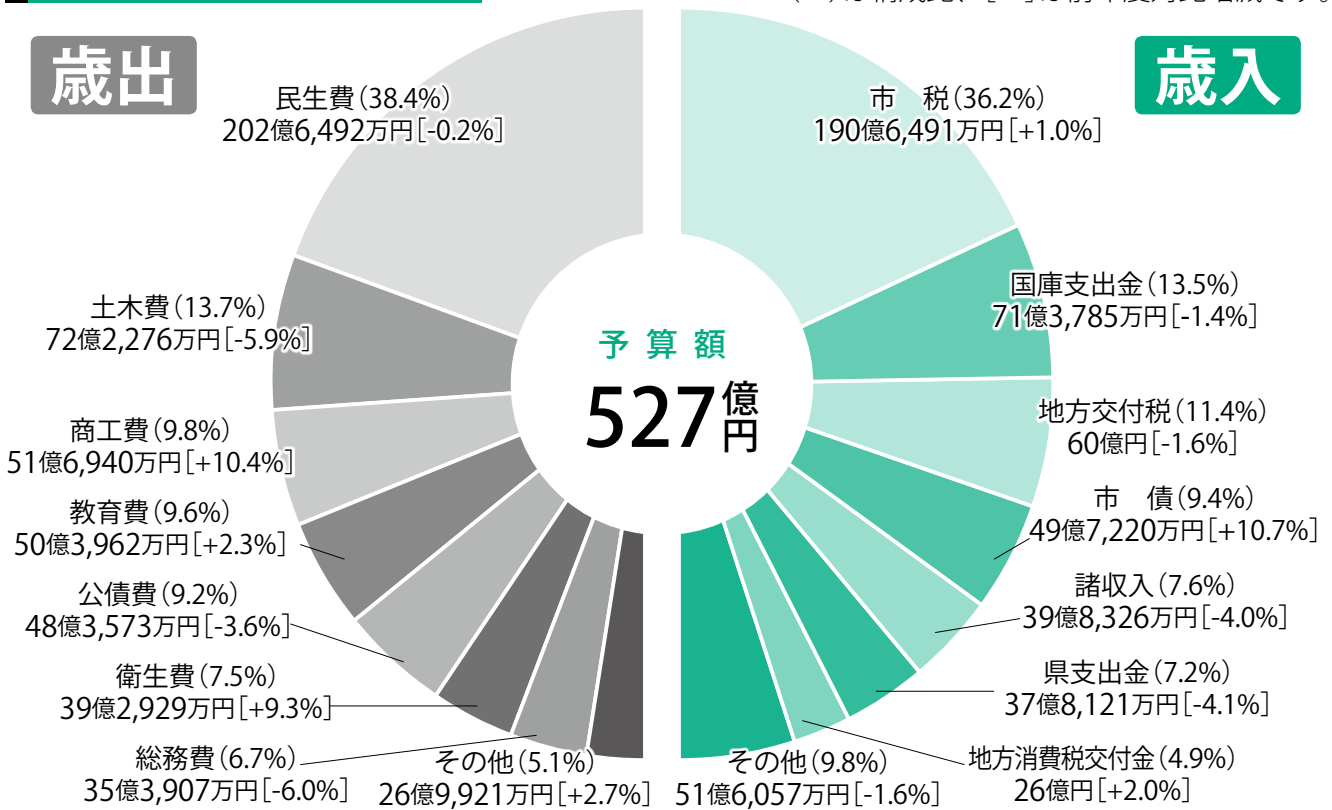
前年度対比 -33億3,360万円、-3.4%

一般会計予算内訳

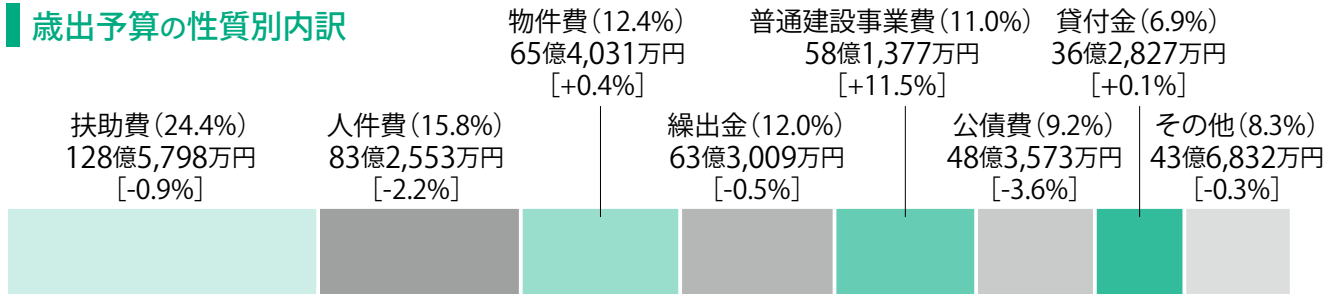
※()は構成比、[]は前年度対比増減です。

歳出

歳入



歳出予算の性質別内訳



特別会計

会計名	予算額	前年度対比増減	一般会計からの繰入金
介護保険(保険事業勘定)	126億7,000万円	[+3.0%]	18億8,902万円
国民健康保険(事業勘定)	162億円	[-19.8%]	12億2,022万円
後期高齢者医療	17億9,700万円	[+11.1%]	4億8,787万円
太陽光発電事業	5,660万円	[+2.2%]	0円
農業集落排水事業	4,670万円	[+112.3%]	4,071万円
公共下水道事業	59億4,000万円	[+3.4%]	26億9,205万円
堀里ニュータウン下水処理事業	1,250万円	[-3.8%]	0円
水道事業	38億9,800万円	[-1.2%]	0円
工業用水道事業	2億100万円	[+5.8%]	0円
合計	408億2,180万円	[-7.8%]	63億2,987万円

市民1人あたりの 予算の使いみち(一般会計)

